

高齢者薬物療法の現状・課題と漢方薬の位置づけ

東北大学病院総合地域医療教育支援部・漢方内科
准教授・副部長・副科長 高山 真 先生

7月の内科医会学術講演会、特別講演 I には、東北大学より高山真先生をお迎えし、高齢者に対する漢方診療につきお話頂いた。

先生は、日本老年医学会より発刊された「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」の作製に参画された日本漢方界のホープで、循環器を専攻され循環器専門医の資格も持っておられるだけあって、そのお話は非常に logical で、漢方医学の専門医でなくとも理解可能な説得力に富むものであった。先生は、エビデンスレベルの高い抑肝散・半夏厚朴湯・大建中湯・麻子仁丸・補中益気湯等につき、説明されたが、特に半夏厚朴湯の誤嚥性肺炎予防効果には眼を見張らせられるものがあつた。この他、質疑応答では内服が苦手な人の漢方エキス製剤は、オレンジゼリーに混ぜると内服コンプライアンスがあがるとか、ほうしん帯状疱疹の水疱に五苓散の三倍投与1日で水疱の軽快をみたとか、御自身の経験に基づく有用なお話を多数頂き66名もの参加者にとって非常に有益で実りのある講演会となった。ここに、改めて高山先生に深甚なる謝意を表させて頂く次第である。

(吉村医院 吉村 信)